

## 費用価格と利潤

本質的な商品の価値  $W = c$  (不変資本) +  $v$  (可変資本) +  $m$  (剰余価値)  
資本家の意識では  $W = k$  (費用価格) +  $m$  に転化する

例えば  $W = c400 + v100 + m100 = k500 + m100 = 600$  とすると

$c=400$	$v=100$	$m=100$
---------	---------	---------

不変資本  $c$  が 400 から 500 に騰貴した場合には、費用価格は 500 から 600 に、商品価値も 600 から 700 に騰貴する。

$c=500$	$v=100$	$m=100$
---------	---------	---------

不変資本  $c$  が 400 から 200 に下落すれば、費用価格は 300 に下落し、商品価値も 400 に下落する。

$c=200$	$v=100$	$m=100$
---------	---------	---------

不変資本は変化せず、労働力の価格が変化するとどうなるか

$c=400$	$v=100$	$m=100$
---------	---------	---------

労働力の価格が 100 から 150 に騰貴すると費用価格は 500 から 550 に騰貴するが商品価値は 600 のままで変わらない。

$c=400$	$v=150$	$m=50$
---------	---------	--------

労働力の価格が 100 から 50 に下落すれば費用価格は 500 から 450 に下落するが商品価値は 600 のままで変わらない。

$c=400$	$v=50$	$m=150$
---------	--------	---------